

明科いいまち通信

No. 96

安曇野市明科中川手6824番地1

明科支所：☎62-3001 / 明科公民館：☎62-4605

いいまち通信は、
WEBでもご覧
いただけます。▶



<http://akashina.net/localinfo/newslist>

令和8年7月16日 発行



今月の明科の人 紹介



今回は

安曇野・明科の地へ来て

です

明科中学校

校長 下條 拓也

4月より明科中学校長を拝命しました下條 拓也と申します。よろしくお願いいたします。

私は、ここ数年、佐久市・長野市で単身赴任の生活を送っていましたが、この春からは松本市の自宅から、美しい北アルプスを眺めながら犀川沿いを車で明科中へ通勤しています。明科中といえば、高校時代の親友の母校でありまして、辞令をいただいた時に、嬉しい縁を感じさせていただいたものです。

さて、明科中学校の印象について、生徒は明るく純朴で、中学生らしく仲間と共に学び、青春を謳歌しています。先生方は生徒を大切にしながら力を発揮され、保護者・地域の方はあたたかく、学校を大事にしてくださっています。そして、生徒が校庭で体育や部活動をしている時、常念岳をはじめとする雄大な北アルプスが生徒を抱いてくれていることが、なんだかまぶしく、そして、うらやましくもあります。きっと、明科中の生徒の原風景には、この美しい自然、恵まれたふるさとの風景がいつまでもあり続け、生徒の生きる力につながっているのだろうと感じています。



今年度、明科中学校では、「ありのままで『なりたい自分』への追求ができる」学校づくりを目指しています。特に、安曇野ふるさとづくり応援団の方に支えていただきながら生徒も教職員も地域に飛び出す「プロジェクト型縦割り探究」（総合的な学習の時間「あやめタイム」）や、学級や生徒会等において小グループで誰もが安心して聴いたり話したりすることができる「対話」、そして、自分に必要な学びを自ら選択し追究できる「まなびの時間」等に、挑戦しようと考えています。

そんな中、先日、生徒会役員のみなさんとランチミーティングを行いました。そこで、役員のみなさんからこんなことが語られました。

「今年度の生徒会スローガンは『飛躍 全員の力で目指せ！明中の最高到達点！！』です。“全員”で目指していくためにも、『明科中学校人権憲章』を大切にしたいと思います。」「『人権憲章』が大切にされれば、一人一人が笑顔で“全員”が個性を発揮できるようになると思います。」

『人権憲章』は、明科中学校第49期生徒会の先輩方によって平成18年9月29日に創られました。「地域の方々の熱い願いを受け、私たちは、生徒全員が毎日の生活を笑顔で送れるような明科中学校を創り上げていくことをめざし…」からはじまる、全5条から成る憲章です。今年度も4月の生徒会入会式において、額に納められた『人権憲章』が生徒会長から全クラスに贈られるとともに、6月の生徒集会の中でその意味を語り合う時間が設けられました。

- 第1条 私たちは、どのような時もお互いに平等であり、安心して学校生活を送っていく権利が保障されなければならない。
- 第2条 私たちは、どのような時もお互いのことを認め合い、励まし合わなければならない。
- 第3条 私たちは、差別、からかい、悪口、陰口などのいじめにつながる行為を行ってはならないし、許してはならない。
- 第4条 私たちは、いじめにつながる行為を受けたら、助けを求めなければならない。
- 第5条 私たちは、みんなの笑顔を想い、みんなの笑顔のために行動しなければならない。

（『明科中学校人権憲章』より）

私たちは、「命を大切にする 人権を尊重する」という教育の根幹を耕しながら、「探究」「対話」「多様性の包摂」を重点において、生徒と共に学校づくりを進めてまいります。地域のみなさま方におかれましては、是非、生徒をこれまで同様あたたかく見守っていただきますとともに、生徒の学びに伴走していただきたく、今後ともご支援ご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。

明科コラム

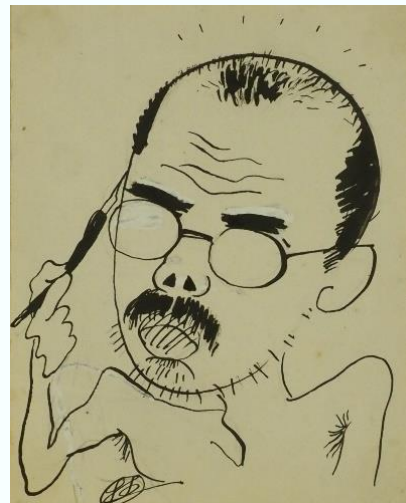


文書館前期企画展

「望月^{もちづき}桂^{かつら} 自由^{たす}を扶くひと —犀川凡太郎の人生漫歩—

安曇野市文書館 松澤 果穂・幅 国洋

望月桂という人物をご存知でしょうか。明科（旧：中川手村）出身で、明治43年に東京美術学校（現：東京藝術大学）を卒業。その後、印刷所、氷水屋等を開き、堺利彦・大杉栄らと親交を深め、社会・労働運動関係の新聞等に挿絵や漫画を描きました。さらに、日本におけるアンデパンダン展（無審査・無賞・自由出品を原則とする美術展）の最も早い例のひとつである「黒耀会展」を開催します。また、犀川凡太郎の名で読売新聞等に社会風刺漫画を描きました。戦争が激しくなった昭和16年には、軍需工場「高島屋工業株式会社」の青少年寮の舎監、付属青年学校の教員となり、親元を離れて生活する少年・少女を親身になって支え、生活や進路の面倒をみました。昭和20年に工場の疎開が必要になると、信州を疎開先にしようと駆け回り、伝手を頼って中川手国民学校・東川手国民学校の校舎を借り、工場を移しました。戦後、工場は東京に戻りますが、望月桂は明科から離れることなく、生家で帰農しました。小作農民の自立を実現しようと農民組合を立ち上げ、村人に推されて農地委員となり、10年にわたって農地委員会の会長として困難な農地改革の事業を推し進めました。晩年は、松本松南高校（現在閉校）の美術講師を務め、美術教育に専心しました。この望月に関する資料が、令和7年3月にご遺族から安曇野市教育委員会へ寄託され、絵画資料は安曇野市美術館に、日記や原稿等の資料は当館に収蔵されています。



『漫文漫画』原画
「望月桂（自画像）」

これらの資料を安曇野の皆さんに見ていただき、望月桂を知っていただきたいと、安曇野市文書館と安曇野市美術館（旧、豊科近代美術館）、碌山美術館の3館で8月30日まで望月桂に関する展示を開催しています。市美術館では望月の絵画・漫画原稿・スケッチ等200点あまり、碌山美術館では望月が尊敬した荻原守衛（碌山）との関わりについて展示しています。

市文書館では日記・回顧録等の手稿をもとに、望月桂の生涯と明科に疎開してから晩年の安曇野での活動を中心に紹介しています。望月の生涯については、自身でその生涯を年代順にまとめた「桂

記録年譜」に書かれているエピソードとともに紹介しています。疎開後から晩年の安曇野での活動については資料の現物も展示するとともに、望月が研究していた大逆事件や貞享騒動についても紹介しています。また、当館収蔵の公文書も活用していますので、文書館ならではの展示をお楽しみいただけます。

3館同時に同じ人物について、それぞれの館の特色を活かしながら、異なった側面からアプローチした展示は初めての試みとなります。望月桂についてより深く知ることができる内容となっていますので、ぜひ3館を巡っていただければ幸いです。



文書館での展示の様子

発酵と健康 ～食から考える健康寿命～

主 催：明科いいまちつくろうかい!! 発酵文化研究班
 日 時：7月25日(土) 午後1時30分～3時30分
 場 所：明科公民館 調理実習室
 講 師：高橋 紗希恵さん(料理実践家・管理栄養士)
 定 員：20人
 参加費：700円(パウンドケーキ、資料代込み)
 申込み：7月21日(火)、22日(水)に明科公民館に電話でお申し込みください TEL:0263-62-4605(午前9時～午後5時)

夏の歌声ひろば

アコーディオンの演奏にあわせてみんなで
 懐かしい歌謡曲、童謡・唱歌を歌いましょう。



日 時：7月28日(火) 午後1時30分～3時30分
 場 所：明科公民館 講堂
 奏 者：柴田 勲さん
 曲 目：365歩のマーチ、見上げてごらん夜の星を ほか
 参加費：無料
 申込み：不要

夏休み 将棋教室



日 時：7月29日(水) 30日(木) 午前10時～午後4時
 場 所：明科公民館 講義室
 講 師：安曇野市囲碁・将棋実行委員会委員
 参加費：無料 ※1日だけの参加もけっこうです
 申込み：7月28日(火)までに明科公民館に電話でお申し込みください TEL:0263-62-4605(午前9時～午後5時)

ふるさとたんけん隊①

日 時：8月3日(月) 午前9時30分～午後3時30分
 場 所：長野県水産試験場(集合)・明科公民館(解散)
 講 師：長野県水産試験場職員・ちくりんず(竹細工)
 定 員：20人(先着順) ※1、2年生は保護者同伴
 参加費：500円(昼食代込み)
 申込み：7月27日(月)、28日(火)に明科公民館に電話でお申し込みください TEL:0263-62-4605(午前9時～午後5時)

カヌー体験教室

龍門洲公園の池で安全にカヌー体験をしてみませんか。
 日 時：8月7日(金) 午前9時30分～午後1時
 場 所：龍門洲公園
 講 師：秋元 悠祐さん(安曇水群)
 定 員：30人
 参加費：1,000円(未就学児無料)
 申込み：7月30日(木)、31日(金)に明科公民館に電話でお申し込みください TEL:0263-62-4605(午前9時～午後5時)



スマホ相談室 基礎編 第2回

日 時：8月20日(木) 午前10時～正午
 場 所：明科公民館 講義室
 講 師：公民館職員
 参加費：無料
 定 員：15人(先着順)
 持 物：スマートフォン
 申込み：8月12日(水)、13日(木)に明科公民館に電話でお申し込みください TEL:0263-62-4605(午前9時～午後5時)



いいまちつくろうかい!! 8月地域イベント

明科うまいもん市



地元の農産物・銘品の販売、家族での遊び・ものづくり体験、ピアノの伴奏に併せて童謡、唱歌を歌うサロンを開催します
 日 時：8月29日(土) 午前9時～午後2時(予定)
 場 所：明科公民館 講堂・駐車場
 参加費：無料
 申込み：不要



カヌー体験教室

龍門洲公園の池で安全にカヌー体験をしてみませんか。
 日 時：9月5日(土) 午前10時～午後1時
 場 所：龍門洲公園
 講 師：秋元 悠祐さん(安曇水群)
 定 員：30人
 参加費：1,000円(未就学児無料)
 申込み：8月31日(月)、9月1日(火)に明科公民館に電話でお申し込みください TEL:0263-62-4605(午前9時～午後5時)



健康麻雀教室 第3回

日 時：9月8日(火) 午後1時～5時
 場 所：明科公民館 講義室
 講 師：安井 邦夫さん(元明科公民館長)
 定 員：12人(先着順)
 受講料：200円
 申込み：9月2日(水)、3日(木)に明科公民館に電話でお申し込みください TEL:0263-62-4605(午前9時～午後5時)



歴史探訪講座

「朝ドラ『風薫る』大関和と愛蔵・黒光・尚江」明治のナイチンゲール大関和(ちか)と相馬愛蔵・黒光、木下尚江の関係について語ります。
 日 時：9月11日(金) 午後1時30分～3時30分
 場 所：明科公民館 講堂
 講 師：矢花 和成さん(元高校教諭)
 参加費：無料
 申込み：不要

第42回 安曇野明科あやめまつりが開催されました

6月20日、21日にかけて開催されたあやめまつりは、初日はあいにくの天候にもかかわらず、ハナショウブの見頃を迎えて、延べ1万3千人の皆様足を運んでいただきました。金管バンドや和太鼓、キッズダンスなどのステージ発表や、にじますのつかみどり、ラフティング体験、特産物の販売など、明科の魅力を発信する機会として末永く続くことを願っています。



あやめまつり
マスコットキャラクター
リーリオ



明科の歴史を深掘りする「明科歴史サロン」

今回は安曇野の歴史研究会の「安曇誕生の系譜を探る会」及び明科公民館との共催により、明科の歴史を深掘りする連続講座シリーズの一環として開催しました。まずは座学で安曇野の中世史の第一人者ともいべき、教育委員会文化課の逸見大悟氏から、塔原城を中心とした安曇野の戦国時代について学びました。明科で戦国時代について講演していただくのはこれで3回目ですが、豊富な資料を紐解いて頂きながら詳しく解説して頂きました。鎌倉時代に東信から進出して塔原城をはじめ光城や田沢城を築いて



川手地方一帯を支配してきた海野氏一族、そして甲斐の武田氏の侵攻によって逃亡した小笠原氏や軍門に降った仁科一族の物語。やがて武田氏が滅ぶと小笠原氏が復帰して始まった天正壬午の乱。その中で有為転変した明科の塔原城。約70名の参加者は熱心に耳を傾けていました。

翌日は、前日の講座に登場した旧跡を安曇野案内人倶楽部のガイド2名により現地見学会が行われ、20名の方が城攻めに挑戦しました。海野氏の菩提寺とされる雲龍寺の裏手から居館跡とされる明科中学校、対岸の押野城（高田城）や遠く小岩嶽城・岩原城を眺めながら戦国時代の安曇野に思いを馳せてから、金玉池を経て搦手から塔原城に入りました。主郭背後の大堀切や土塁、石積で固められていた切岸、崩れた石積の跡や何段もの郭。戦国時代の姿を思い起こさせる遺構に往時を偲びました。安曇野では小岩嶽城・岩原城とともに見事に残る遺構に、参加者は感嘆の声を上げていました。



- ▲ 5月30日 講演会「塔原城からみた安曇野の戦国時代」講師：逸見大悟氏
5月31日 現地見学会「戦国山城探訪 塔原城」ガイド：宮田浩美氏・川崎克之氏

編集後記

- ・明科公民館長に就任してから約3カ月が経過しました。昨年度より公民館には勤務しておりましたが、今後も館長として、皆様が利用しやすい公民館づくりを進めて参りますのでよろしくお願いします。（せ）
- ・夏は暑い日が増えているので熱中症にならないように水分補給や休憩をこころがけていきたいと思います。（さ）

いいまち通信の掲載記事を募集します

明科いいまち通信へ掲載する記事を募集いたします。なにか発信したい内容などがありましたら、是非ご投稿ください。

募集内容 住民のみなさまからの記事・文章・写真・俳句・ご意見など

投稿要項 ・投稿する際は必ず氏名・住所・連絡先を記載してください。

・記事内容は、明科いいまち通信編集会議で検討いたします。

投稿方法 ①明科支所（明科中川手 6824-1）へ持ち込む または

②Eメールで送る ⇒ akashina-shisho@city.azumino.nagano.jp

お問合せ 明科いいまち通信編集担当（TEL:62-3001 FAX:62-4747）